

(17)

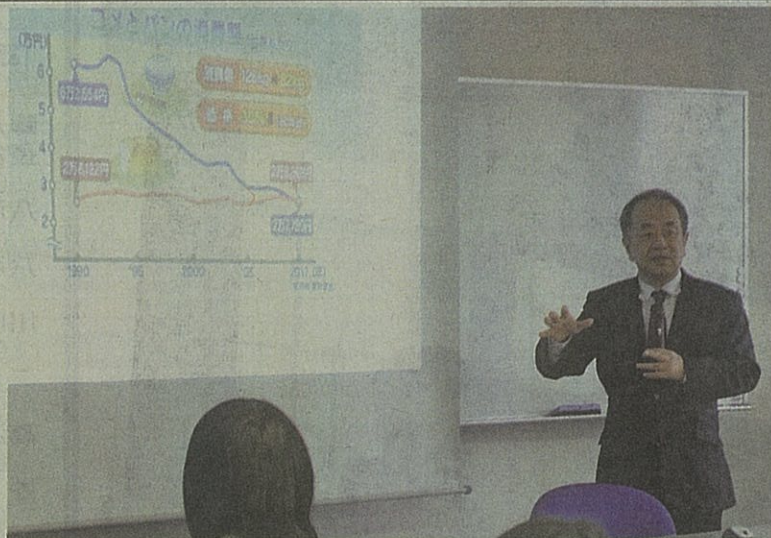
(第3種郵便物認可)

6次産業化の 成功事例紹介

三沢で推進セミナー

三沢市雇用創造推進協議会（代表・種市一正市長）は8日、農業者や漁業者が加工、流通販売まで手掛ける6次産業化の推進セミナーを市国際交流教育センターで開いた。6次産業に詳しい食環境シヤーナリスト金丸弘美さんが講演し、地域資

源の把握と市場調査、他業種を含む横断的な仲間で取り組む必要性などを訴えた。セミナーは、雇用創造を図る厚労省の委託事業で、市内の農家や漁師、関係団体の職員



講師の金丸弘美さん（右）が、6次産業化の成功事例などを紹介

ら約50人が参加した。「食」をキーワードにした地域デザイン」と題して講演した金丸さんは、まずコメ消費や農業産出額の減少傾向など、1次産業の厳しい現状を説明。「50

年後は大正時代と同じ人口規模になる。価値があるものをつくり、団体客から個人客に目を向けるべきだ」と強調した。

また金丸さんは、イチゴやゴボウなど地場産品を使った献立のアドバイスをした茨城県小美玉市、特産ネギで31種類の加工品を作った秋田県能代市、漁村への修学旅行誘致で年間3万5千人もの生徒を集める長崎県松浦市青島などの成功事例を紹介した。

地域の産品、1次産業の特性を上手に生かし、年商や雇用を増やした各地の取り組みに、参加者らは熱心に耳を傾けていた。

（長谷川開丈）